

横浜市感染症発生動向調査報告 7月

《今月のトピックス》

- 性的接触によるA型肝炎の報告が多い状態が続いています。
- RSウイルス感染症、ヘルパンギーナの報告が増加傾向にあります。
- 咽頭結膜熱の報告が多い状態が続いています。
- 百日咳の報告が16件ありました。今後の推移に注意が必要と考えられます。

◇ 全数把握の対象

〈7月期に報告された全数把握疾患〉

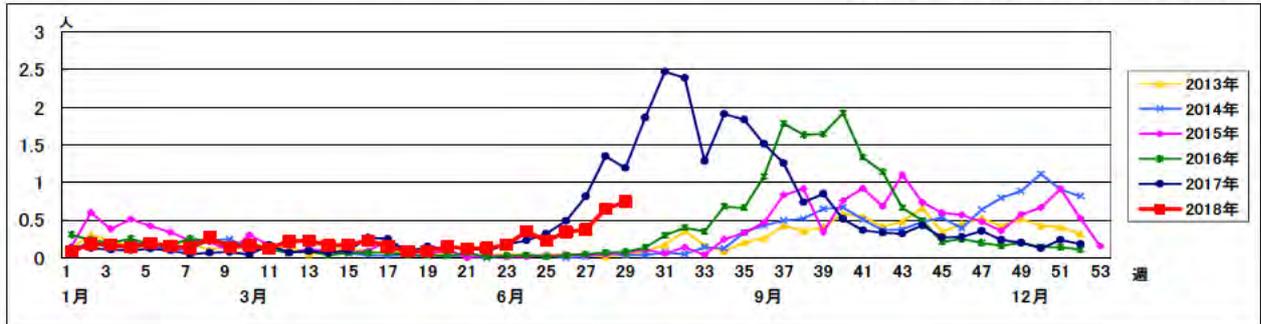
腸管出血性大腸菌感染症	12件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
E型肝炎	3件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	6件
A型肝炎	5件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
レジオネラ症	3件	水痘(入院例に限る)	2件
アメーバ赤痢	5件	梅毒	8件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5件	百日咳	16件

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O157の報告が9件(うち3件が無症状病原体保有者)、O26の報告が2件(いずれも無症状病原体保有者)、O103の報告が1件ありました。
- 2 E型肝炎: いずれも国内での感染と推定され、経口感染が2件、感染経路不明が1件でした。
- 3 A型肝炎: 国内での同性間性的接触による感染と推定される報告が5件ありました。いずれもワクチン接種歴なしでした。
- 4 デング熱: スリランカでの蚊からの感染と推定される報告が1件ありました。
- 5 レジオネラ症: 肺炎型の報告が3件あり、感染経路不明です。
- 6 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が5件ありました。国内では、性的接触による感染と推定される報告が3件(異性間2件、同性間1件)、経口感染と推定される報告が1件あり、国外では、ブラジルでの経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 5件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A群の報告が1件あり、感染経路等不明でした。
- 9 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): AIDSの報告が3件、無症状病原体保有者の報告が3件ありました。男性4件、女性2件でした。同性間性的接触が2件、異性間性的接触が2件、感染経路不明が2件でした。
- 10 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 90歳代(ワクチン接種歴なし)の報告が1件ありました。
- 11 侵襲性肺炎球菌感染症: 70歳代(ワクチン接種歴不明)の報告が1件ありました。
- 12 水痘(入院例に限る): 検査診断例1件(20歳代)、臨床診断例1件(40歳代)の報告があり、いずれもワクチン接種歴不明でした。
- 13 梅毒: 8件の報告(無症状病原体保有者1件、早期顕症梅毒Ⅰ期3件、早期顕症梅毒Ⅱ期4件)がありました。いずれも国内での性的接触による感染が推定され、異性間の性的接触が5件、同性間の性的接触が2件、異性間および同性間の性的接触が1件です。
- 14 百日咳: 10歳未満では、新生児と乳児が1件ずつ(ワクチン接種歴なし)、小児で10件(ワクチン接種歴4回)の報告があり、10歳代で1件(ワクチン接種歴4回)、20歳代で2件(ワクチン接種歴4回)が1件、不明が1件、30歳代で1件(ワクチン接種歴不明)の報告がありました。

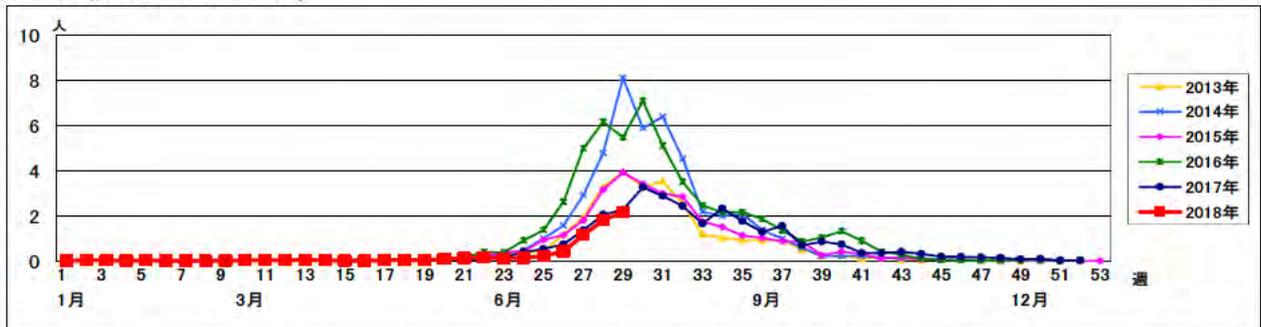
◇ 定点把握の対象

1 RSウイルス感染症:第27週で定点あたり0.37、第28週で定点あたり0.65、第25週は0.74と、増加傾向にあります。2017年と同様の時期に増加しており、今シーズンも動向を注視する必要があります。

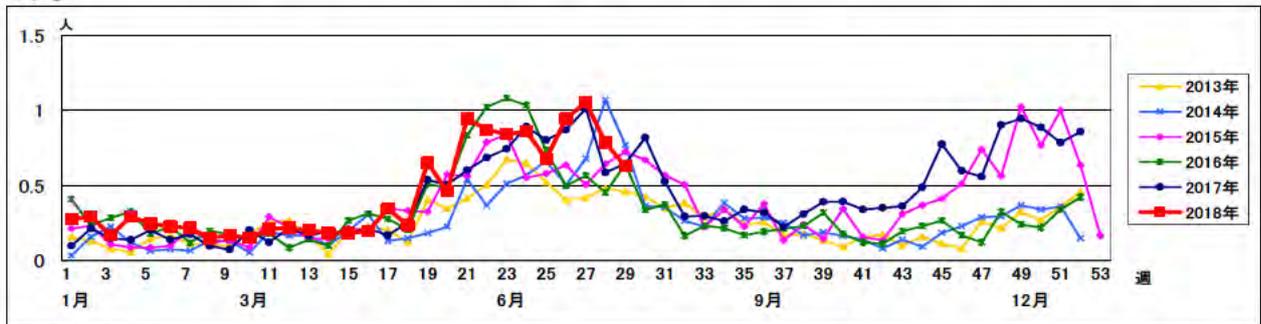
報告週対応表	
第26週	6月25日～7月 1日
第27週	7月 2日～7月 8日
第28週	7月 9日～7月15日
第29週	7月16日～7月22日



2 ヘルパンギーナ:第26週頃より増加傾向となり、第29週では定点あたり2.16となっています。2017年と同様の推移となっています。



3 咽頭結膜熱:第19週より増加傾向となり、高値で推移しています。第29週では定点あたり0.63となっています。



4 性感染症(6月)

性器クラミジア感染症	男性:29件	女性:26件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 6件	女性:9件
尖圭コンジローマ	男性: 8件	女性: 2件	淋菌感染症	男性:14件	女性:1件

5 基幹定点週報

	第26週	第27週	第28週	第29週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.25	0.25	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.25	0.25	0.00

6 基幹定点月報(6月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	9件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	—	—

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

7月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点46件、内科定点10件、眼科定点5件、基幹定点6件で、定点外医療機関からは4件でした。

8月7日現在、表に示した各種ウイルスの分離株5例、遺伝子39例が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(7月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	R S 感 染 症	感 染 性 胃 腸 炎	ヘルパンギーナ	発 熱
アデノ 2型	3					
アデノ 型未同定	1					
パラインフルエンザ 1型		1				
パラインフルエンザ 3型	1	2			1	
ヒトボカ		1				
ヒトメタニューモ		5				
RS	1	1	3			
コロナ			1			
ライノ	1	3				
コクサッキー A4型		1			4	
コクサッキー A9型	1			1		
コクサッキー B2型						1
エコー 3型	1					1
エコー 18型						1
パレコ 1型				1		
パレコ 3型						2
パレコ 4型						1
ノロ				3		1
合計	3 6	14	4	5	5	2 5

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

「菌株同定」の主な依頼は、基幹定点から大腸菌毒素産生能10件、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌4件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌3件、肺炎球菌2件、サルモネラ菌2件などとなっており、非定点からは、非結核性抗酸菌3件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌が1件ありました。保健所からは、腸管出血性大腸菌11件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌6件、劇症型溶血性レンサ球菌、インフルエンザ菌が各2件などとなっています。

「分離同定」の検査は、基幹定点から紅斑熱群・ツツガムシ3件、抗LPS抗体2件、ボレリア、バルトネラ、マラリア各1件、非定点から紅斑熱群・ツツガムシが1件ありました。このうちボレリア抗体(IgM陽性)となりました。保健所からは、レジオネラ属菌の依頼があり、不検出でした。

「小児科サーベイランス」ではA群溶血性レンサ球菌が1件検出しました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(7月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等		
医療機関	基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	3	<i>Enterobacter cloacae</i>	
		サルモネラ菌	2	<i>Salmonella Schwarzengrund</i> , <i>Salmonella Give</i>	
		腸管出血性大腸菌	1	O157:H7 VT1VT2	
		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	4	TSST-1(4)、PVL(1)	
		大腸菌毒素産生能	10	ETEC(3)、EaggEC(1)、毒素産生能無し(6)	
		インフルエンザ菌	1	<i>Haemophilus influenzae</i> 型別不能	
		レジオネラ属菌	1	<i>Legionella pneumophila</i> 1群	
	非定点	真菌	1	<i>Cryptococcus neoformans</i>	
		肺炎球菌	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 15型	
		劇症型溶血性レンサ球菌	1	G群	
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Enterobacter cloacae</i>	
		非結核性抗酸菌	3	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>massiliense</i>	
		保健所	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	6	<i>Enterobacter aerogenes</i> (2)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (4)
			腸管出血性大腸菌	11	O26:H11 VT1(2)、O157:H7 VT1VT2(3)、 O157:H7 VT2(4)、O157:H- VT2(1)、 VT不検出(1)
インフルエンザ菌	2		<i>Haemophilus influenzae</i> 型別不能		
肺炎球菌	1		<i>Streptococcus pneumoniae</i>		
劇症型溶血性レンサ球菌	2		A群T12、A群型別不能		

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等	
医療機関	基幹定点	ボレリア	血清	1	ボレリア抗体 IgM陽性
		紅斑熱群、ツツガムシ	全血	2	不検出
			皮膚	1	不検出
		マラリア	全血	1	不検出
	非定点	抗LPS抗体	血清	2	抗体陰性(O157、O26、O111、 O103、O145、O121、O165)
		バルトネラ	全血	1	不検出
		紅斑熱群、ツツガムシ	全血	1	不検出
保健所	レジオネラ属菌	喀痰	1	不検出	

小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	2	A群T4型、不検出
	伝染性膿痂疹	1	<i>Staphylococcus aureus</i>

【 微生物検査研究課 細菌担当 】